

# 令和元年度 春季 短期留学プログラム

- \*マーレイ州立大学 
- \*ハワイ大学マウイカレッジ 
- \*ユニテック インスティテュート  
オブ テクノロジー 

今度の春休みは、集中的に英語を学習する短期留学プログラムに参加しませんか？授業はもちろん、ホームステイでファミリーと、学生寮で同世代の仲間と、英語に囲まれた環境で過ごすチャンスです！今回はJASSOの奨学金も申請可能です。

## 申込方法

【募集要項】3つのプログラム  
詳しくはこちら→



【応募用紙】下記窓口にて配布します。  
提出は同窓口か郵送で受け付けます。  
五福：留学支援課（共通教育棟B棟1F）  
杉谷：国際交流課（医学部研究棟3F）  
高岡：芸術文化学部総務課学務チーム

【締切】9月13日（金）必着！

### 【今後の予定】

11～12月  
第1回説明会  
海外危機管理  
オリエンテーション  
↓  
第2回説明会  
3月 第3回説明会  
詳細は随時参加者にお知らせします。  
(スケジュールは変更の可能性あり。)





## 令和元年度マーレイ州立大学短期留学プログラム募集要項

○日程（予定）：令和2年2月14日（金）～3月18日（水）（34日）

○行程（予定）：

令和2年2月14日（金）富山空港>羽田空港>成田空港（乗継）ナッシュビル（ホテル泊）  
2月15日（土）ナッシュビル>マーレイ州立大学  
2月17日（月）クラス分けテスト、語学研修開始  
3月13日（金）語学研修終了  
3月14日（土）マーレイ州立大学 >ナッシュビル>ニューヨーク（ホテル3泊）  
3月17日（火）ニューヨーク>（機内泊）  
3月18日（水）成田空港>羽田空港>富山空港

○参加費用（予定）： **約69万円** 変動の可能性あり。昨年度参考：689,187円

【費用に含まれるもの】※US\$1.00=¥115で計算しています

国内・国際航空運賃、移動交通費（経路変更や燃油サーチャージ等、変動の可能性あり）  
学生ビザ取得費用等  
ナッシュビルでの宿泊費（朝食付1泊）、マーレイ州立大学での宿泊、研修費、  
ニューヨークでの宿泊費（朝食付3泊）、ニューヨークでの実地研修費  
マーレイ州立大学でのカフェテリア利用料（\$210の予定、チャージ可能）  
学研災付帯・海外留学保険、留学生危機管理サービス OSSMA

\* プログラム参加にあたり、大学が指定する保険や危機管理サービスに必ず加入頂きます。  
\* 応募者が10名を下回った場合は、参加費用（航空運賃）が増額する可能性があります。

【費用に含まれないもの】

ビザ取得時の米国領事館への往復交通費、マーレイ州立大学での週末旅行費用、教材費等

○募集人数：30名程度

①（独）日本学生支援機構海外留学支援制度（協定派遣）奨学金（16万円）受給者・・・30名程度

受給要件は別紙「[\(独\)日本学生支援機構海外留学支援制度\(協定派遣\)奨学金受給のための条件](#)」を参照

② ①の奨学金受給者以外の学生・・・募集人数(30名程度)から①の学生を引いた人数

応募者多数の場合は、①の受給者選考の次点者から順に選考します。

応募用紙に、「奨学金を受給できなかった場合でも参加を『希望する』」とした申請者の参加も認めます。  
また、①の受給要件を満たさない場合は、各キャンパスで実施している奨学金事業（いずれも返還不要の給付型）に申請できます。申請締切日等、詳細は各学部の教務担当までお問い合わせください。

○参加申し込み手続き

参加を希望する学生は、「令和元年度短期派遣留学プログラム応募用紙」を提出してください。  
所定の英語試験スコアを保持している学生は、スコアを証明する書類のコピーも提出してください。

○参加申し込み期限：

**令和元年 9月13日（金） 17時（厳守）**

○参加学生の決定：

令和元年10月頃の予定（本人に通知します。）

【応募用紙配布元・提出先】

五福キャンパス：国際部留学支援課（共通教育棟B棟1F）

杉谷キャンパス：国際部国際交流課（医学部研究棟3F）

高岡キャンパス：芸術文化学部総務課 学務チーム

(注)杉谷キャンパスから参加の学生は、プログラム期間が補講・試験期間と重なります。

参加を希望する方は、担当教員、部局の教務と事前に必ず相談してください。

※応募用紙等の提出は、郵送でも受け付けます。**郵送の場合でも、9/13（金）必着**です。

郵送先：〒930-8555 富山市五福3190

富山大学国際部留学支援課 マーレイ州立大学短期留学プログラム担当 宛

○単位認定

本プログラムの成績証明をもとに、富山大学にて単位が認定される場合があります。ただし、部局により認定科目、単位数等が異なります。また、新たに教養教育の英語科目への認定も可能となりました。詳しくは各部局の教務担当に確認してください。本プログラムの単位認定は来年度（令和2年度）に行われます。よって、令和2年4月の進級のための単位として用いることができませんのでご注意ください。なお、(独)日本学生支援機構海外留学支援制度で奨学金を受給する学生は必ず学部教務にて単位認定の申請を行うこと。

○その他

※申込み後のキャンセルは原則認められません。履修スケジュール等をよく確認して応募してください。

※プログラム参加者限定の、**事前英語研修**を実施します。

日本学生支援機構の奨学金を希望する学生は、事前英語研修を必ず受講してください。授業と重なる等、やむを得ない理由により受講できない場合は、留学支援課へ報告してください。

※プログラム参加者には、研修終了後、アンケート、報告書の作成等にご協力頂きます。完成した報告書は、氏名入りで大学のHP（学内限定）に公開しますので、ご了承ください。

過年度の報告書を、国際機構HPから見るができます（学内のみ閲覧可能）。

○プログラムに関する問い合わせ先

国際部留学支援課 電話：076-445-6082 Email：ryugaku@adm.u-toyama.ac.jp





## 令和元年度ハワイ大学 マウイカレッジ英語研修プログラム募集要項

○日程（予定）：令和2年3月7日（土）～3月28日（土）・・・22日（現地20泊）

○行程（予定）：

令和2年3月7日（土）富山空港>羽田空港>（成田空港）>ホノルル>カフルイ  
3月8日（日）ホストファミリーとのファミリーライゼーション  
3月9日（月）クラス分けテスト、語学研修開始  
| 語学研修（週4日：月～木曜日（金はクラスなし））  
3月26日（木）語学研修終了  
3月27日（金）カフルイ>ホノルル>  
3月28日（土）（成田空港）>羽田空港>富山空港  
※プログラム期間中に特別課外授業が組込まれます

○参加費用（予定）：約60万円 変動の可能性あり。昨年度参考：597,650円

【費用に含まれるもの】※US\$1.00=¥115で計算しています

国内・国際航空運賃、移動交通費（経路変更や燃油サーチャージ等、変動の可能性あり）  
授業料（申請料、授業料、特別課外授業等含む）  
ホームステイ料金（申請料、食事代1日2食、学校への送迎含む）  
学研災付帯・海外留学保険、留学生危機管理サービス OSSMA  
※プログラム参加にあたり、大学が指定する保険や危機管理サービスに必ず加入頂きます。  
※応募者が10名を下回った場合は、参加費用（航空運賃）が増額する可能性があります。  
※ホームステイ先は、基本的に1家庭2～3名の滞在となります。

【費用に含まれないもの】

マウイカレッジでの週末アクティビティ等費用、教材費等

○募集人数：16名

①（独）日本学生支援機構海外留学支援制度（協定派遣）奨学金（8万円）受給者・・・16名

受給要件は別紙「（独）日本学生支援機構海外留学支援制度（協定派遣）奨学金受給のための条件」を参照

② ①の奨学金受給者以外の学生・・・募集人数（16名程度）から①の学生を引いた人数

応募者多数の場合は、①の受給者選考の次点者から順に選考します。

応募用紙に、「奨学金を受給できなかった場合でも参加を『希望する』」とした申請者の参加も認めます。また、①の受給要件を満たさない場合は、各キャンパスで実施している奨学金事業（いずれも返還不要の給付型）に申請できます。申請締切日等、詳細は各学部の教務担当までお問い合わせください。

○参加申し込み手続き

参加を希望する学生は、「令和元年度短期派遣留学プログラム応募用紙」を下記まで提出してください。  
所定の英語試験スコアを保持している学生は、スコアを証明する書類のコピーも提出してください。

○参加申し込み期限

**令和元年 9月13日（金）17時（厳守）**

○参加学生の決定

令和元年10月頃の予定（本人に通知します。）

【応募用紙配布先及び提出先】

五福キャンパス： 国際部留学支援課（共通教育棟B棟1F）

杉谷キャンパス： 国際部国際交流課（医学部研究棟3F）

高岡キャンパス： 芸術文化系学部総務課 学務チーム

\* 応募用紙等の提出は、郵送でも受け付けます。**郵送の場合でも、9/13（金）必着**です。

郵送先：〒930-8555 富山市五福3190

富山大学国際部留学支援課 ハワイ大学マウイカレッジ英語研修プログラム担当 宛

○単位認定

本プログラムの成績証明をもとに、富山大学にて単位が認定される場合があります。ただし、部局により認定科目、単位数等が異なります。また、新たに教養教育の英語科目への認定も可能となりました。詳しくは各部局の教務担当に確認してください。本プログラムの単位認定は来年度（令和2年度）に行われます。よって、令和2年4月の進級のための単位として用いることができませんのでご注意ください。なお、（独）日本学生支援機構海外留学支援制度で奨学金を受給する学生は必ず学部教務にて単位認定の申請を行うこと。

○その他

※申込み後のキャンセルは原則認められません。履修スケジュール等をよく確認して応募してください。

※プログラム参加者限定の、**事前英語研修**を実施します。

日本学生支援機構の奨学金を希望する学生は、事前英語研修を必ず受講してください。授業と重なる等、やむを得ない理由により受講できない場合は、留学支援課へ報告してください。

※プログラム参加者には、研修終了後、アンケート、報告書の作成等にご協力頂きます。完成した報告書は、氏名入りで大学のHP（学内限定）に公開しますので、ご了承ください。

過年度の報告書を、国際機構HPから見るができます（学内のみ閲覧可能）。



○プログラムに関する問い合わせ先

国際部留学支援課

電話：076-445-6082

Email：ryugaku@adm.u-toyama.ac.jp



令和元年度ユニテック インスティテュート オブ テクノロジー  
短期英語研修プログラム募集要項

○日程（予定）：令和2年2月22日（土）～ 3月21日（土）（29日）

○行程（予定）：

- 令和2年2月22日（土）富山空港（機中泊）
- 2月23日（日）オークランド空港（ニュージーランド）>ホームステイ宅へ
- 2月24日（月）～3月19日（木）ユニテック言語学部にて語学研修
- 3月20日（金）終了式・昼食会>夜にオークランド空港へ>（機内泊）
- 3月21日（土）>富山空港

富山大学プログラム：

昨年度は参加者の所属学部に関連する現地施設訪問を実施しました。現在、その結果をアンケートと参加者への聞き取り調査を基に精査・検討中です。令和元年度の実施については、今後逐次お知らせします。

○参加費用： 約50万円 昨年度参考：466,240円 富山空港発着中国東方航空利用の場合。  
（予定） 変動の可能性あり。

【費用に含まれるもの】※NZ\$1.00=約¥80～90

- 国内・国際航空運賃、移動交通費（経路変更や燃油サーチャージ等、変動の可能性あり）
- 授業料（申請料他、授業料）、ホームステイ料金（申請料、食事代等）
- 空港⇄ホームステイ宅の送迎、修了式昼食会、
- 学研付帯・海外留学保険、留学生危機管理サービス OSSMA
- ※プログラム参加にあたり、大学が指定する保険や危機管理サービスに必ず加入していただきます。
- ※ホームステイ料金には1日2食（朝・夕）が含まれています。

【費用に含まれないもの】

週末アクティビティ等費用、ホームステイ宅から学校までの通学費、教材費等

○募集人数：

- ①（独）日本学生支援機構海外留学支援制度（協定派遣）奨学金（7万円）受給者・・・20名  
受給要件は別紙「（独）日本学生支援機構海外留学支援制度(協定派遣)奨学金受給のための条件」を参照
- ② ①の奨学金受給者以外の学生・・・・・・・・・・・・・・・・・・上限なし

応募用紙に、「奨学金を受給できなかった場合でも参加を『希望する』」とした申請者の参加も認めます。また、①の受給要件を満たさない場合は、各キャンパスで実施している奨学金事業（いずれも返還不要の給付型）に申請できます。申請締切日等、詳細は各学部の教務担当までお問い合わせください。

○参加申し込み手続き

参加を希望する学生は、「令和元年度短期派遣留学プログラム応募用紙」を下記まで提出してください。  
所定の英語試験スコアを保持している学生は、スコアを証明する書類のコピーも提出してください。

○参加申し込み期限

令和元年 9月13日（金）17時（厳守）

○参加学生の決定

令和元年10月頃の予定（本人に通知します）

【応募用紙配布元・提出先】

- 五福キャンパス：国際部留学支援課（共通教育棟B棟1F）
- 杉谷キャンパス：国際部国際交流課（医学部研究棟3F）
- 高岡キャンパス：芸術文化学部総務課 学務チーム

\* 応募用紙等の提出は、郵送でも受け付けます。郵送の場合でも、9/13（金）必着です。

郵送先：〒930-8555 富山市五福3190

富山大学国際部留学支援課 ユニテック インスティテュート オブ テクノロジー  
短期英語研修プログラム担当 宛

○単位認定

本プログラムの成績証明をもとに、富山大学にて単位が認定される場合があります。ただし、部局により認定科目、単位数等が異なります。また、新たに教養教育の英語科目への認定も可能となりました。  
詳しくは各部局の教務担当に確認してください。本プログラムの単位認定は来年度（令和2年度）に行われます。よって、令和2年4月の進級のための単位として用いることができませんのでご注意ください。  
なお、(独)日本学生支援機構海外留学支援制度で奨学金を受給する学生は必ず学部教務にて単位認定の申請を行うこと。

○その他

- ※申込み後のキャンセルは原則認められません。履修スケジュール等をよく確認して応募してください。
- ※プログラム参加者限定の、事前英語研修を実施します。  
日本学生支援機構の奨学金を希望する学生は、事前英語研修を必ず受講してください。授業と重なる等、やむを得ない理由により受講できない場合は、留学支援課へ報告してください。
- ※プログラム参加者には、研修終了後、アンケート、報告書の作成、及び帰国報告会等にご協力頂きます。完成した報告書は、氏名入りで大学のHP（学内限定）に公開しますので、ご了承ください。  
過年度の報告書を、国際機構HPから見る事ができません（学内のみ閲覧可能）。

○プログラムに関する問い合わせ先

杉谷キャンパス英語科 教授 木村裕三 電話：076-434-7470 Email: ykimura@med.u-toyama.ac.jp  
国際部留学支援課 電話：076-445-6082 Email: ryugaku@adm.u-toyama.ac.jp

